

横浜市方式の天空率チェック方法

取扱 1 行き止まり道路の場合

取扱 1 2 入り隅道路の場合

下図のような、道路が敷地内部で行き止まっている場合、
T P - P L A N N E R で必要な処理は、

○ J C B O 方式

○ 天空率用敷地での、外壁後退同一設定、同一区間設定

○ 天空率算定領域での、同時計算グループ設定

○ 算定線を修正

の 4 点です。

では、実際にどのような
入力・設定を行なうの
か、を説明します。

以下の処理は、

T P - S K Y で行います。

あらかじめ、真北、敷地、

用途地域、建物などを T

P - L A N D で入力して

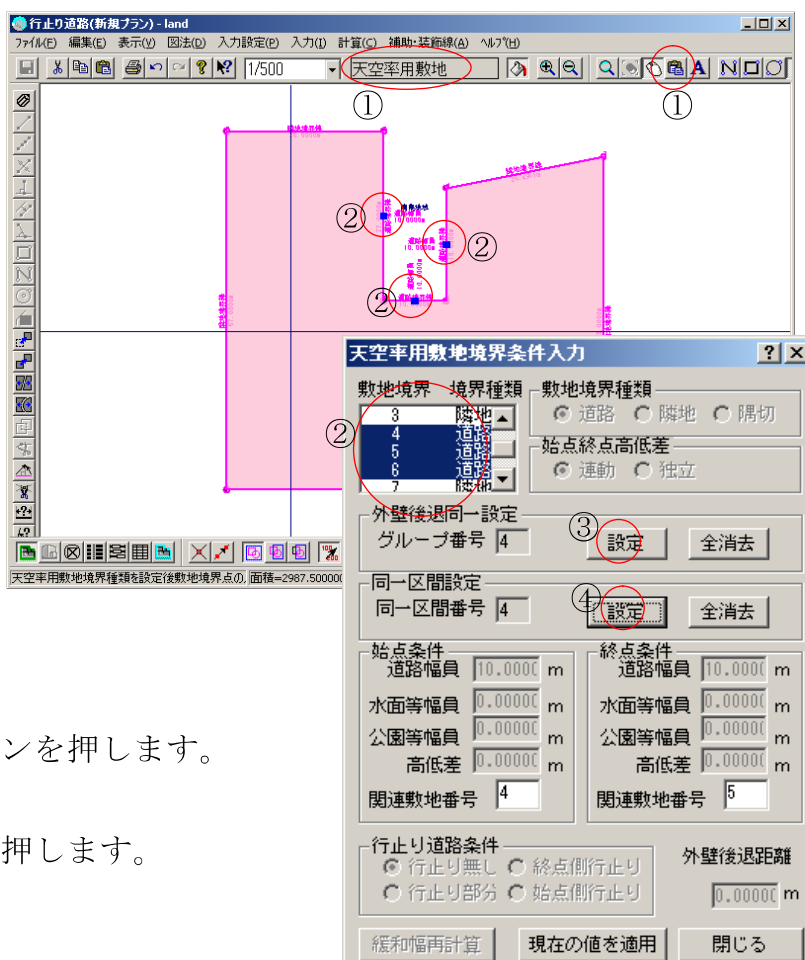
おいてください。

① まず、『天空率用敷地』で敷地を
天空率用敷地に取り込みます。

② 道路境界線を選択します。
選択する際に画面上を『S h i f t』
を押しながらクリックすることにより
複数選択が可能です。
選択された境界線には青い■が付きます。
あわせて、選択の状況が『天空率用敷地
境界条件入力』ダイアログ内に反映
されます。

③ 『外壁後退同一設定』の『設定』ボタンを押します。

④ 『同一区間設定』の『設定』ボタンを押します。



- ⑤ 天空率算定領域を自動発生をする際、横浜市方式の天空率算定線は算定領域の最外郭まで延長する必要があります。『自動発生方式詳細』ボタンを押します。

天空率算定領域入力

算定領域
領域番号
用途番号
地盤面番号
基準高さ(m)
敷地境界番号

ポイント座標(m)
番号
X
Y
Z
斜面設定

同時計算グループ
設定 解除

自動発生方式詳細 ⑤

全境界発生
道路 隣地 北側
指定境界発生
道路 隣地

斜線適合建築物発生元
自動発生 入力値 算定線

算定線発生
線分指定 北側線分 2点

算定線
番号
敷地境界番号
同時計算グループ
設定 解除
外壁後退距離
距離変更
m

天空率算定線詳細設定

現在の値を適用 閉じる

- ⑥ 『道路の場合、隣地に接する算定線の範囲を発生した辺の範囲に限らない』欄の『算定領域幅』を選択します。
その他、下図のように設定してください。

天空率算定領域/算定線発生詳細

天空率設定ファイル(E)

発生及び計算時設定

- ☐ 常に敷地または天空率用敷地に垂直な方向で算定領域を切出し天空率を計算する
- ☐ 天空率算定線に垂直な方向で算定領域を切出し天空率を計算する
- ☐ 当該境界からの高さ制限範囲を入り隅範囲までに限る
- ☒ 前面道路範囲を幅員の2倍で区切らないようにする
- ☒ JOBO方式
道路幅が異なる入隅での算定線の扱い
標準 前面道路境界まで
- ☐ 入り隅部分の各範囲を円で取らない
- ☒ 入り隅処理部分の高さを算出する
円弧用近似正多角形の頂点数 36
規制範囲内外判定値(%) 100

発生時設定

- ⑥ ☒ 道路の場合、隣地に隣接する算定線の範囲を発生した辺の範囲に限らない
算定領域幅 敷地幅 天空率用敷地幅
- ☒ 天空率用敷地がある場合の敷地境界のグループ化を有効にする
道路反対側の算定線を自動でつなぐ 隣地反対側の算定線を自動でつなぐ
- ☒ 隅切り部分で算定線を延長する
みなし敷地境界まで 隅切り反対側の敷地境界まで
- ☒ 算定線が発生しない領域を削除する
- ☐ 入隅で天空率算定線を短縮し、隣接した算定線とつなぐ
- ☐ 常に算定線と敷地または天空率用敷地の境界幅で発生させる
- ☒ 道路出隅部分を敷地幅で側面を垂直切断する
- ☒ 道路同一区間設定された境界の算定領域を自動でグループ化する
- ☐ 道路同一区間設定された境界の算定領域を自動でグループ化する

OK キャンセル

- ⑦ 天空率算定領域を自動発生させます。
算定線が対応する算定領域の最外郭まで延長されます。

天空率算定領域入力

算定領域
領域番号
用途番号
地盤面番号
基準高さ(m)
敷地境界番号

ポイント座標(m)
番号
X
Y
Z
斜面設定

同時計算グループ
設定 解除

自動発生方式詳細

全境界発生
道路 隣地 北側
指定境界発生
道路 隣地

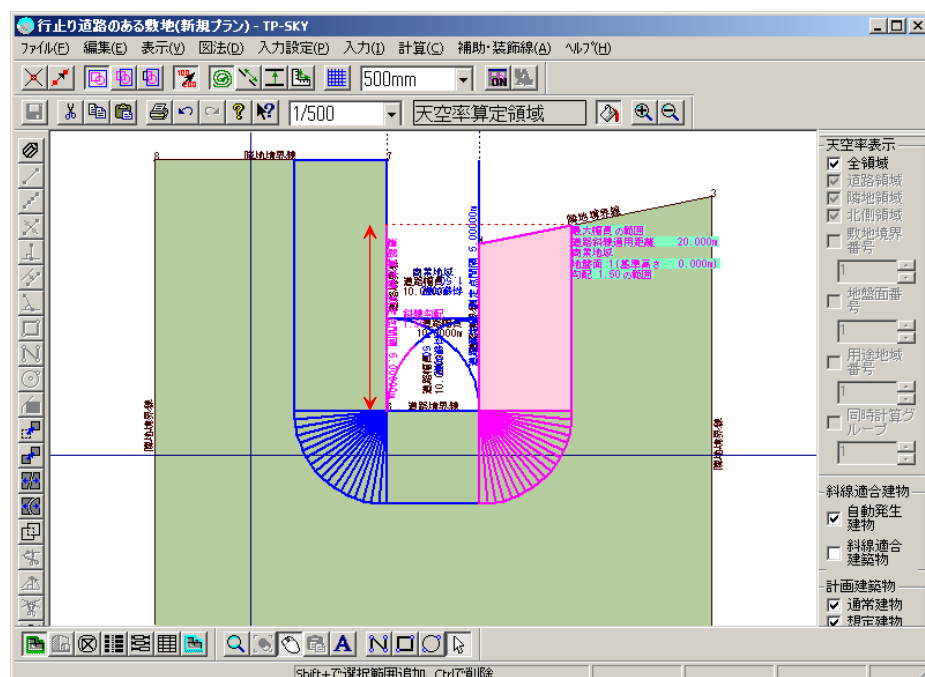
斜線適合建築物発生元
自動発生 入力値 算定線

算定線発生
線分指定 北側線分 2点

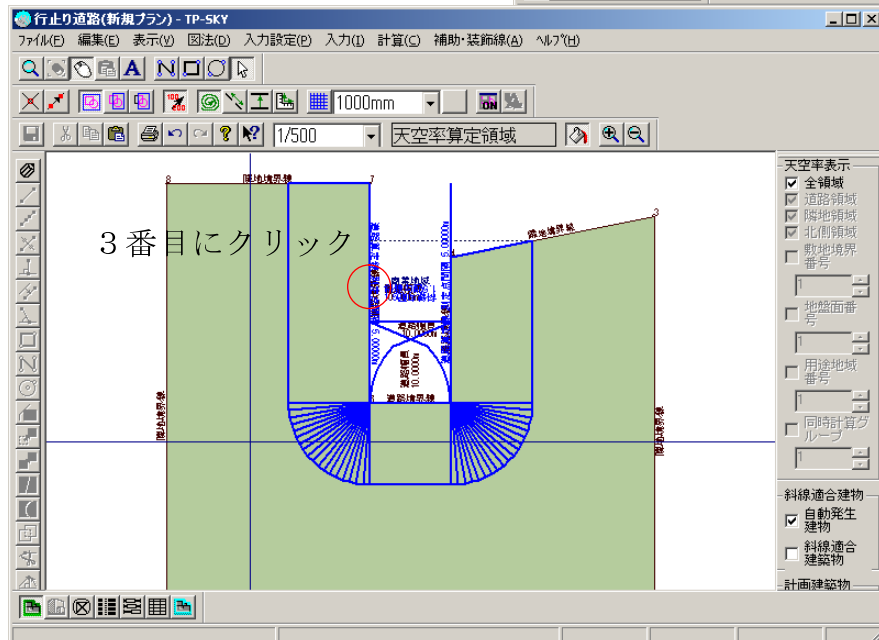
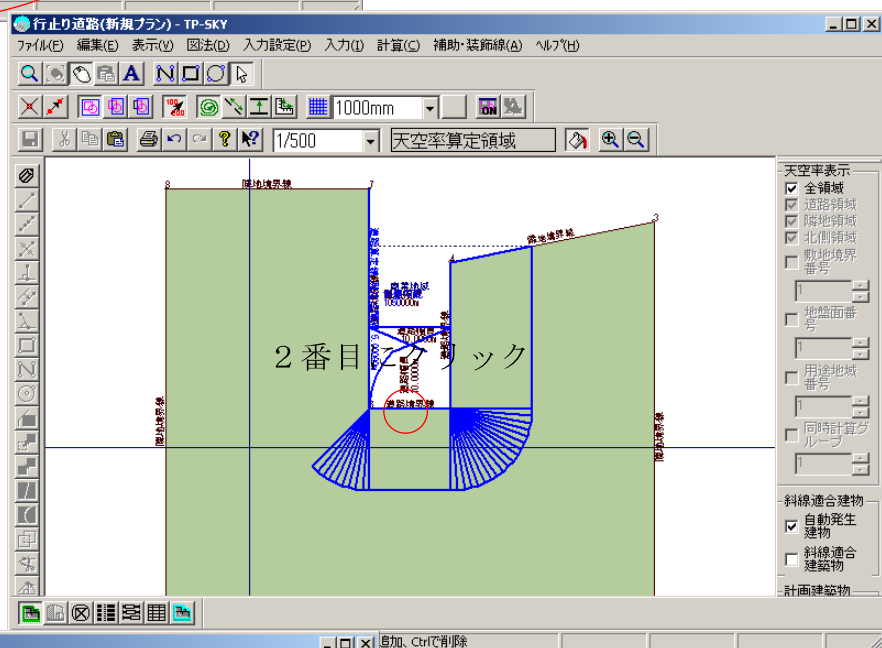
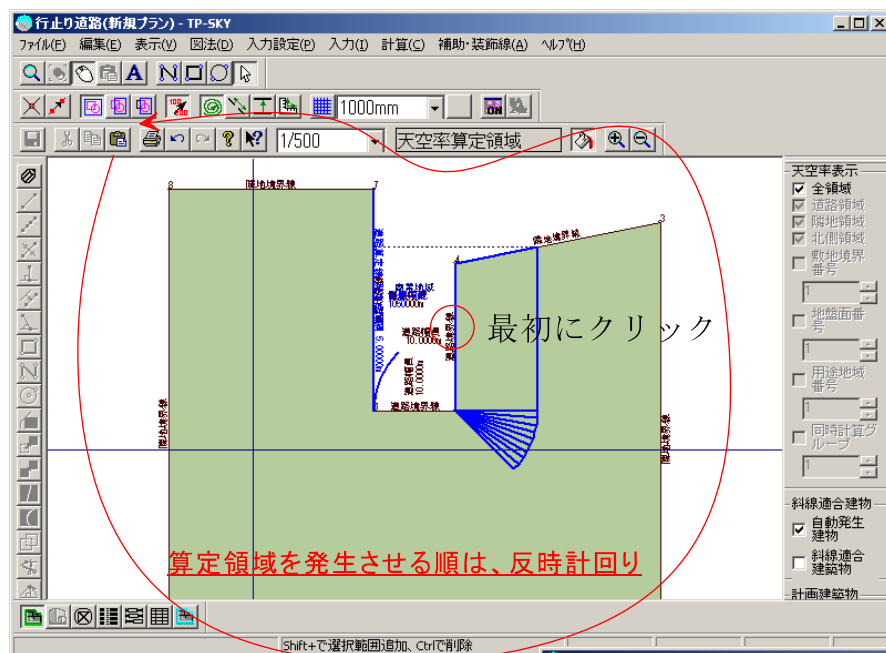
算定線
番号
敷地境界番号
同時計算グループ
設定 解除
外壁後退距離
距離変更
m

天空率算定線詳細設定

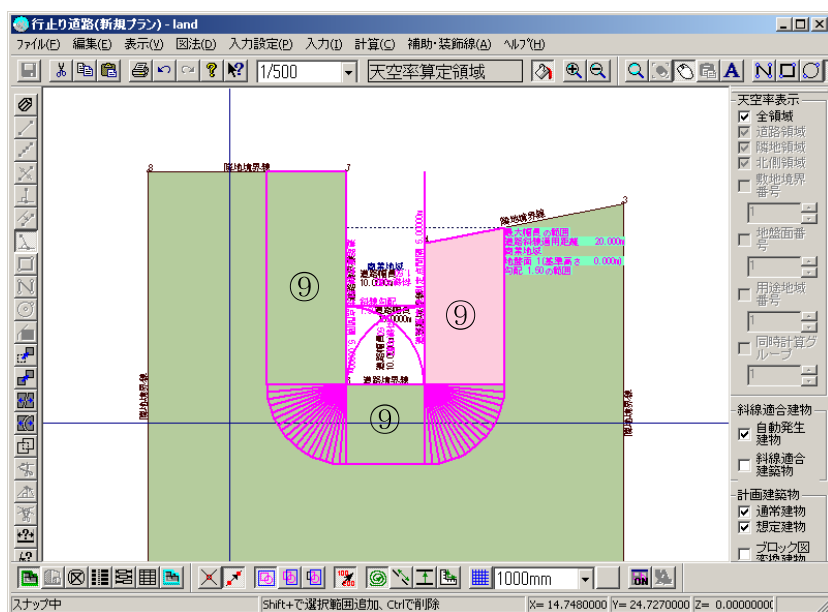
現在の値を適用 閉じる



- ⑧『天空率算定領域』では、敷地境界線ごとに算定領域を発生させる場合は、敷地境界点に付けられた番号の順に反時計回りで発生させてください。

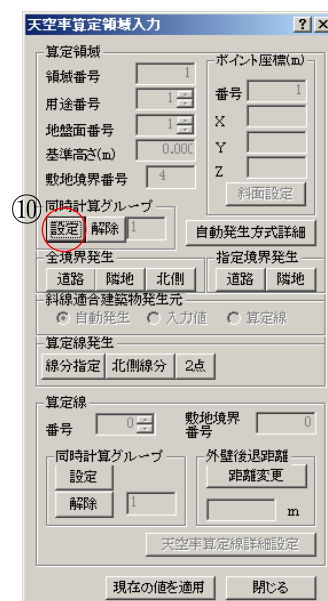


- ⑨ 算定領域を境界線ごとに発生させた場合、自動でのグループ化は行なわれません。
算定領域を選択後グループ化し、同時計算グループに設定します。



算定領域をクリックして選択します。
複数選択する場合は「Shift」を押しながらクリックします。
明示的に囲えるのであれば、ドラッグでの範囲選択も可能です。
(キーボードショートカットの「Ctrl」+「A」で全選択可能です。)

- ⑩ 『同時計算グループ』の『設定』ボタンを押します。



- ⑪ 『天空率』を計算させます。
結果は、以下のようになります。

